

家畜衛生だより

シリーズ 子牛の下痢症 第3回 ～予防方法（子牛の管理）～

令和4年9月20日発行
最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
Tel : 29-1357 FAX : 23-2944

今回は、ウイルス・細菌・寄生虫による下痢（感染性下痢）の予防方法について紹介します。

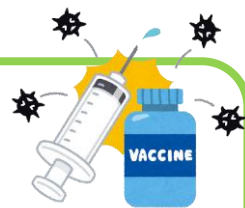
●ワクチンによる予防

分娩前の母牛へのワクチン接種

分娩前に母牛へのワクチン接種を行い、母牛の抗体産生を促します。
母牛で作られた抗体は初乳を介して、子牛へ受け渡されます。

例：下痢5種ワクチン

（牛ロタウイルス感染症・牛コロナウイルス感染症・牛大腸菌症などに有効）



●免疫力を高める

初乳の摂取

初乳の摂取をすることで子牛は免疫を高めます。初乳を与えるときは、生まれてから6時間以内に最低3Lを与えることを目安として考えましょう。

（生まれた状況により時間や量は異なります）



●寒冷ストレスの緩和

気温による環境変化

冬など気温が低下する季節には寒冷によるストレスから下痢を発症することもあるため、十分に注意しましょう。

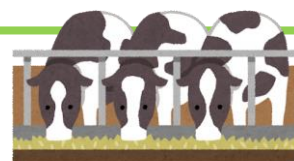
対策としては・・・カーフジャケットなどによる保温を行う



●病原菌を広げない

発症牛の隔離

感染性下痢の発症牛がいる場合は隔離を行い、感染拡大防止に努めましょう。



●牛舎の汚染を低減する

適切な消毒

分娩房や子牛房の定期的な清掃や消毒を行い、清潔な飼養環境を整えましょう。ただ消毒を行うだけでなく適切な消毒薬を用い、適切な方法で行うことが重要となります。
また牛舎のみならず、使用器具の消毒も重要となります。



【有効な消毒薬と病原体一覧表（代表的な病原体と消毒薬を載せています）】

消毒薬	細菌			ウイルス		寄生虫
	大腸菌やサルモネラ	炭そ菌、クロストリジウム	結核菌	コロナウイルス ※エンベロープあり	ロタウイルス ※エンベロープなし	コクシジウム、 クリプトスポリジウム
クリアキル・パコマ・動物用ベタセプトなど	○	×	×	△	×	×
アンテックビルコンS・クレンテなど	○	○	○	○	○	×
ポピドンヨード	○	△	○	○	○	×
トライキル・動物用タナベゾールなど	○	×	○	△	×	○

※エンベロープは・・・ある特定のウイルスが持つ脂質構造のこと。

★牛舎の適切な消毒方法★

① 畜舎の清掃

牛糞などの有機物が牛舎に残っていると、消毒薬の効果が低下してしまうため消毒前に洗浄を行う

② 洗浄後の乾燥

洗浄後、水洗を行い十分な乾燥を行う

③ 適切な消毒薬の散布

目的に応じた消毒薬を選択し、適切な用法・用量で散布する



次回は母牛の管理について解説します！

ご不明な点等は、最上家畜保健衛生所までご連絡ください。
電話番号 0233-29-1357（休日・時間外も連絡可能）